



■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数	人	11,930	R2	21,242	22,578	26,603	22,000
2	スポーツ関連団体の構成者数	人	4,423	R2	4,345	4,336	4,323	4,800
3	市内の主な運動施設の利用率	%	70.3	R2	74.3	74.9	72.7	76.5
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	重要度 0.87 満足度 ▲ 0.20	0.97	0.97	スポーツ施設の充実について、重要度は1次から2次は横ばいとなっているが、現状値からは上昇している。一方、満足度については、1次・2次ともに現状値より高いものの、2次では下降している。
2	重要度 満足度		▲ 0.05	
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員と連携して市イベントを実施するとともに、協働事業としてスポーツ鬼ごっこ大会を実施した。また、総合型地域スポーツクラブ等のイベントへの支援を行った。
② スポーツ団体の育成と競技力の向上	市スポーツ協会を通じて各種競技団体への支援を行うとともに、競技力の向上を図るため、激励金制度等により全国大会などの高レベルの競技大会出場への支援を行った。
③ スポーツ文化の浸透	三重ホンダヒートと連携した「亀山市魅力発信デー」の実施によりスポーツを観る機会づくりや、読売巨人軍との共催での野球教室の開催等により、運動する機会づくりの創出に取り組んだ。
④ スポーツの拠点づくり	指定管理者と連携して運動施設の利用促進を図りつつ、学校体育施設の利用促進を図った。また、関B&G海洋センター更衣室等改修などにより施設改修を図った。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

スポーツ活動の推進については、スポーツ推進委員と連携した壮年ソフトボール大会やニュースポーツ大会等の主催イベントや、各種団体によるイベントの計画的に実施され、特に指定管理者の自主事業の講座やその参加者が大きく増加した。スポーツ団体の育成と競技力の向上については、全国大会等の上位大会への出場者が様々な分野の競技へ広がりがみられ、スポーツ協会をはじめとした各競技団体等の活動により競技力の向上につながっていると考えられる。スポーツ文化の浸透については、運動施設の指定管理者や関係団体によるスポーツイベントの実施や、運動やスポーツを体験する機会づくりを進めた。また、三重ホンダヒートと連携した亀山市魅力発信デーを実施し、ハイレベルな競技に触れる機会づくりを行い、スポーツを観る機会にもつなげることができた。スポーツの拠点づくりについては、B&G財団の助成金を活用した関B&G海洋センタープールの設備改修、東野公園体育館の空調整備をはじめとした必要な施設改修を進めることで、スポーツ環境の充実を図ることができた。一方で、施設の老朽化も進んでおり、利便性の低下にならないよう、計画的な施設の改修や修繕の対応が必要である。さらに、新たに名阪工業団地第三公園をスケートボード等のできる場所として開放し、幅広いスポーツの拠点づくりに取り組んだ。

**B**

まずは進んだ

今後の展開方針

各種団体やスポーツ推進委員と連携し、イベントの提供機会の確保・充実を図るとともに、市民体力テストの充実や事業との連携により、健康につながる運動機会づくりに取り組む。また、スケートボード場の活用状況を継続的に調査し、利用ニーズの把握に努める。また、中学校部活動改革については、休日の地域展開の方向性について教育委員会や関係団体と連携した検討を進める。指定管理者や三重ホンダヒートなどの民間機関との連携を図りながら、スポーツを見たり楽しんだりできる機会づくりに取り組む。運動施設については、利用者の声や指定管理者との競技を行いながら、引き続き計画的な修繕等により利便性の向上に取り組む。